

2016年 第34回読売学童野球新潟市大会実施要綱

東新潟野球連盟

1. 試合方法および大会規則

- (1) 競技規則は、特に定められた以外は2016年公認野球規則(全日本軟式野球連盟による特別規則を含む)に準ずる。
- (2) 試合方法はトーナメント方式とし、3位決定戦は行わない。
- (3) 本大会を円滑に運営するため、各試合において下記の通り制限を設ける。

試合	イニング	時間制限	タイブレーク方式	コールドゲーム
準決勝・決勝を除く各試合	7回	試合開始 80 分経過後は新しいイニングに入らない。時間内において同点の場合は○×方式。	7回終了後、継続打順によるタイブレーク方式を行う。	① 5回7点以上の得失点差のある場合(決勝戦を除く) ② 降雨・暗黒などで試合が中止の場合は5回終了時。
準決勝 決勝	7回	7回終了同点の場合特別延長タイブレーク	準決勝から摘要し、0 アウト満塁で行う。	

※ただし、天候・日程・その他の事情により、変更することがある。

- (4) 試合前のシートノックは認めない。
- (5) 20歳以上の責任者をチームの代表として届け出ること。
- (6) 選手の健康管理に万全を期して出場すること。各チーム又は各自で傷害保険に加入していること。(救急箱必携)
- (7) 危険防止のため、打者・走者・ベースコーチ・次打者はヘルメットを着用、捕手はヘルメット・ファウルカップ・マスク・プロテクター・レガーズの着用を義務付ける。捕手は投手が投球練習の時もマスクをつける。金属バットはJSBBのマークの入らないものを使用してはならない。硬式用(リトルリーグ)のバットは使用禁止。
- (8) 背番号は、監督:30番、コーチ:29番・28番、主将:10番、その他の選手は0番から99番までとする。(ただし30番、29番、28番、10番を除く)
- (9) ベンチは組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。
- (10) チームは、試合開始予定時刻の60分前に会場に到着し、30分前に打順表を実行委員等に届け出ること。先攻、後攻決定の際は監督又はコーチ同行のこと。
- (11) 鳴り物入りの応援など、マナーを逸脱する応援はひかえること。
- (12) 大会の運営にあたっては、実行委員の指示に従うこと。
- (13) 試合球は全日本軟式野球連盟公認C号ボールを使用、大会本部で用意する。
- (14) ユニフォームに宣伝、広告に類似したマーク等は付けてはならない。

2. 試合中の注意事項

◎試合中にベンチに入ることができる人員は、登録され、背番号を着けた選手・監督・コーチおよびスコアラー1名に制限する。(監督・コーチは必ず背番号を着けること。背番号を着けていない者は、ベンチに入ってはならない)スコアラーはスポーツ行事にふさわしい服装でのぞむこと。

◎ベンチおよびグラウンド内では、必ず帽子をかぶること。

◎相手チーム、観衆などに不快感を与えるような応援・言動は厳に慎むこと。

◎試合はスピーディーに行うこと。

◎フェアプレイ精神に徹しラフプレー等に類似するプレーは慎むこと。

1. 攻守交代は駆け足で行うこと。

2. 投手と捕手について

(1)投手が捕手のサインを見るときは、必ず投手板について見ることを義務づける。

(2)投球を受けた捕手は、速やかに投手に返球すること。

(3)投手は速やかに投手板を踏んで投球姿勢に入ること。

(4)あまりインターバルが長かったり、無用なけんせいが度を過ぎると注意を与えることがある。

(5)捕手はボールをもたないで走路をふさいではならない。

3. 打者について

(1)打者は投手が投球位置にいる、いないに関係なく、速やかに打席に入ること。

(2)次打者は必ず次打者席で、低い姿勢で待つこと。

(3)打者はバッタースボックスを自由に出入りすることは許されない。

(4)打者はバッタースボックス内でサインを見ること。

4. 内野手の転送球について

試合中、内野手間で転送球を行う場合は、定位置でかつ一回り以内とし、次打者が打者席に入る前に投手に返球すること。なお、試合の進行状況により、転送球を中止することもある。

5. タイムについて

(1)監督・コーチはタイムを要求しないで、みだりにベンチを出てはならない。

(2)タイムを制限する。

①意図的にスパイクの紐を結び直すためのタイムは認めない。

②タイムは1分以内を限度とする。ただし審判員が認めたときはこの限りではない。

③タイムはプレーヤーの要求した時ではなく、審判員がタイムを宣告した時である。打者がタイムを要求する場合は、投手が投球の構えに入る前でなければならない。また、打者は投手が投球動作に入ったら、打者席を出てはならない。

6. 走者を迎えるために、ベンチから出てはならない。

7. コーティシーランナー(臨時代走)を認める。(ただし、投手および捕手を除く)